



2024年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年8月10日

上場会社名 アルテリア・ネットワークス株式会社 上場取引所 東
コード番号 4423 URL <https://www.arteria-net.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 株本 幸二
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員CFO (氏名) 建石 成一 TEL 03 (6823) 0349
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	14,954	7.1	1,956	△3.6	1,824	△6.0	1,266	△6.4	1,177	△6.1	1,262	△6.7
2023年3月期第1四半期	13,963	6.8	2,029	△19.0	1,942	△21.8	1,353	△18.0	1,254	△19.7	1,353	△44.9

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	23.59	-
2023年3月期第1四半期	25.15	-

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	112,234	30,089	28,568	25.5
2023年3月期	111,274	30,788	28,893	26.0

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	30.26	-	30.26	60.52
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期 (予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,536	5.2	9,937	4.9	9,673	7.9	6,658	6.2	6,227	5.9	133.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	50,000,000株	2023年3月期	50,000,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	61,216株	2023年3月期	59,542株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	49,939,686株	2023年3月期1Q	49,887,234株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間において、わが国の景気は既往の資源高の影響などを受けつつも、持ち直しの動きがみられます。一方、ウクライナ情勢の長期化や物価の上昇が続く中、供給面での制約や世界的な金融の引き締めによる景気の下振れリスクに引き続き注視する必要があります。

当社グループが事業展開する情報通信関連市場においては、クラウド利用の拡大やテレワークの普及により新たな高速通信やセキュリティの高いネットワークサービスなどへの需要が引き続き発生しております。

このような事業環境のもと、主力サービスの売上は引き続き順調に推移しております。

インターネットサービスにおいては、FTTx、ISP向けサービスの売上が前年と比較し伸長し、IP電話サービスの売上は前年と比較し減少いたしました。その結果、インターネットサービス全体の売上は順調に拡大いたしました。

FTTxサービスでは、テレワーク及びクラウド利用の拡大により、広帯域サービスの需要が継続しております。

ISP向けサービスにおいても高品質なサービス需要は増大しており、クロスパス（注1）の提供が拡大いたしました。

ネットワークサービスにおいても、主力サービスである専用線、VPNサービスの売上が前年と比較し伸長しました。

専用線サービスでは、引き続き、DXを推進している一般企業やその他OTT、通信事業者による信頼性、品質、セキュリティが高い回線サービスの需要が拡大していることを背景に売上が増加しております。

VPNサービスではクラウドサービスやモバイルデバイスの利用が継続的に拡大する中で、クラウド接続サービスや自社回線の高品質サービスなどの売上が増加しております。

マンションインターネットサービスにおいては、分譲市場、賃貸市場ともに順調に売上を拡大しております。

分譲市場では、全戸一括型サービスの導入割合は増加傾向にあり、当グループは安定した受注を堅持しております。

また、賃貸市場においても在宅勤務や動画配信サービスの普及により、高品質サービスの需要が増加していることから、受注が拡大しております。

DXサービスにおいて、Connectixは戦略的な価格引き下げにより、加入申込数が大幅に伸長しました。さらに、2023年3月期に持分法適用した株式会社GameWithが提供するeスポーツ向け高品位ISPサービスであるGameWith光の受注は順調に拡大しております。

一方、コストに関しては、2023年5月11日付「支配株主である丸紅株式会社及びセコム株式会社による当社株券に対する公開買付けの開始予定に関する意見表明のお知らせ」において公表した、丸紅株式会社及びセコム株式会社が当社の普通株式を対象として共同して行う公開買付けに伴い、一時費用が発生いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比991百万円(7.1%)増収の14,954百万円となり、営業利益は前年同期比73百万円(3.6%)減益の1,956百万円、税引前四半期利益は前年同期比117百万円(6.0%)減益の1,824百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期比76百万円(6.1%)減益の1,177百万円となりました。

(注1) NTT東日本、NTT西日本のフレッツに対応した定額制インターネット接続サービス。NTT東西の光コラボレーション事業者の回線にも対応。

(注2) 仮想技術等を用いてネットワーク機能を抽象化することで、物理的な制約なく柔軟な機能提供を可能にする技術。

(2) 財政状態に関する説明

	前連結会計年度末	当第1四半期 連結会計期間末	増減
資産合計(百万円)	111,274	112,234	960
資本合計(百万円)	30,788	30,089	△698
資本(親会社の所有者に 帰属する持分)(百万円)	28,893	28,568	△324
親会社所有者 帰属持分比率(%)	26.0	25.5	△0.5
借入金残高(百万円)	38,630	42,291	3,661

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末比960百万円増加の112,234百万円となり、親会社の所有者に帰属する持分は、前連結会計年度末比324百万円減少の28,568百万円となりました。この結果、親会社所有者帰属持分比率は25.5%となりました。

当期のキャッシュ・フローの概況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前年同期比1,152百万円増加の5,879百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

減価償却費及び償却費の増加、法人所得税の支払額の減少等により、前年同期比1,251百万円収入が増加し、2,577百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

持分法適用会社株式の取得による支出がなくなった一方で、有形固定資産の取得による支出の増加により、前年同期比599百万円支出が増加し、5,734百万円の支出となりました。

以上により、当第1四半期連結累計期間のフリー・キャッシュ・フロー(※)は前年同期比652百万円支出が減少し、3,156百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

借入による収入の増加等により、前年同期比674百万円収入が増加し、1,423百万円の収入となりました。

(※) フリー・キャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結損益状況につきましては、売上高62,536百万円(前年同期比5.2%増)、営業利益9,937百万円(同4.9%増)、親会社の所有者に帰属する当期利益6,658百万円(同6.2%増)を予想しており、2023年5月11日に「2023年3月期 決算短信」で開示した通期の連結業績予想から変更していません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性及び利便性の向上を図るため、2017年3月期より国際財務報告基準(IFRS)を適用しております。

3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
	百万円	百万円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	7,600	5,879
営業債権及びその他の債権	9,390	8,374
その他の金融資産	38	54
棚卸資産	354	400
その他の流動資産	2,856	3,328
流動資産合計	20,240	18,037
非流動資産		
有形固定資産	50,943	54,256
のれん	12,646	12,646
無形資産	14,670	14,477
持分法で会計処理されている投資	1,777	1,771
その他の金融資産	7,357	7,377
繰延税金資産	1,819	1,616
その他の非流動資産	1,817	2,050
非流動資産合計	91,033	94,197
資産合計	111,274	112,234

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
	百万円	百万円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	1,428	5,428
営業債務及びその他の債務	10,414	9,630
リース負債	2,725	2,729
未払法人所得税等	2,013	495
引当金	181	181
その他の流動負債	5,025	5,441
流動負債合計	21,789	23,906
非流動負債		
借入金	37,202	36,863
長期リース負債	11,490	11,143
退職給付に係る負債	991	1,034
引当金	3,797	3,813
繰延税金負債	2,140	2,096
その他の非流動負債	3,073	3,287
非流動負債合計	58,696	58,238
負債合計	80,485	82,144
資本		
資本金	5,150	5,150
資本剰余金	4,760	4,772
利益剰余金	19,305	18,971
自己株式	△322	△322
その他の資本の構成要素	0	△4
親会社の所有者に帰属する持分合計	28,893	28,568
非支配持分	1,894	1,521
資本合計	30,788	30,089
負債及び資本合計	111,274	112,234

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
	百万円	百万円
売上高	13,963	14,954
売上原価	9,499	10,303
売上総利益	4,463	4,651
販売費及び一般管理費	2,437	2,681
その他の収益	59	49
その他の費用	55	63
営業利益	2,029	1,956
金融収益	32	31
金融費用	120	152
持分法による投資利益 (△は損失)	-	△9
税引前四半期利益	1,942	1,824
法人所得税費用	588	558
四半期利益	1,353	1,266
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,254	1,177
非支配持分	98	88
四半期利益	1,353	1,266
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	25.15	23.59
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	-	-

(要約四半期連結包括利益計算書)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
	百万円	百万円
四半期利益	1,353	1,266
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	0	0
純損益に振り替えられることのない項目合計	0	0
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対す る持分	-	△4
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	-	△4
税引後その他の包括利益	0	△4
四半期包括利益	1,353	1,262
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,255	1,173
非支配持分	98	88
四半期包括利益	1,353	1,262

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動体の外貨換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年4月1日時点の残高	5,150	4,703	16,485	△322	-	△0
四半期利益	-	-	1,254	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	-	0
四半期包括利益合計	-	-	1,254	-	-	0
配当金	-	-	△1,568	-	-	-
株式報酬取引	-	11	-	-	-	-
所有者との取引額合計	-	11	△1,568	-	-	-
2022年6月30日時点の残高	5,150	4,715	16,171	△322	-	0
	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素	合計	非支配持分	合計		
	合計					
	百万円	百万円	百万円	百万円		
2022年4月1日時点の残高	△0	26,017	1,913	27,930		
四半期利益	-	1,254	98	1,353		
その他の包括利益	0	0	-	0		
四半期包括利益合計	0	1,255	98	1,353		
配当金	-	△1,568	△411	△1,980		
株式報酬取引	-	11	-	11		
所有者との取引額合計	-	△1,557	△411	△1,968		
2022年6月30日時点の残高	0	25,714	1,600	27,315		

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	在外営業活動体の外貨換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年4月1日時点の残高	5,150	4,760	19,305	△322	△0	0
四半期利益	-	-	1,177	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	△4	0
四半期包括利益合計	-	-	1,177	-	△4	0
自己株式の取得	-	-	-	△1	-	-
自己株式の処分	-	-	-	1	-	-
配当金	-	-	△1,511	-	-	-
株式報酬取引	-	12	-	-	-	-
所有者との取引額合計	-	12	△1,511	0	-	-
2023年6月30日時点の残高	5,150	4,772	18,971	△322	△4	0

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素		非支配持分	合計
	合計	合計		
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年4月1日時点の残高	0	28,893	1,894	30,788
四半期利益	-	1,177	88	1,266
その他の包括利益	△4	△4	-	△4
四半期包括利益合計	△4	1,173	88	1,262
自己株式の取得	-	△1	-	△1
自己株式の処分	-	1	-	1
配当金	-	△1,511	△462	△1,973
株式報酬取引	-	12	-	12
所有者との取引額合計	-	△1,498	△462	△1,961
2023年6月30日時点の残高	△4	28,568	1,521	30,089

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,942	1,824
減価償却費及び償却費	2,306	2,600
金融収益	△32	△31
金融費用	120	152
持分法による投資損益 (△は益)	-	9
固定資産除却損	16	50
営業債権及びその他の債権の増減額	545	1,021
棚卸資産の増減額 (△は増加)	2	△152
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△364	△1,065
固定資産売却益及び顧客契約譲渡益	△21	-
その他	△805	98
小計	3,708	4,509
利息の受取額	0	0
利息の支払額	△93	△126
法人所得税の支払額	△2,288	△1,804
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,326	2,577
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,873	△5,385
有形固定資産の処分による支出	△65	△70
無形資産の取得による支出	△270	△220
持分法で会計処理されている投資の取得による支出	△1,771	-
その他	△154	△57
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,134	△5,734
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,000	4,000
長期借入金の返済による支出	-	△357
リース負債の返済による支出	△685	△691
配当金の支払額	△1,561	△1,505
自己株式の取得による支出	-	△1
その他	△4	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	748	1,423
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	12
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,054	△1,721
現金及び現金同等物の期首残高	7,781	7,600
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,726	5,879

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

要約四半期連結財務諸表の作成において、経営者は、会計方針の適用並びに資産、負債、収益及び費用の金額に影響を及ぼす判断、見積り及び仮定の設定を行うことが義務付けられております。実際の業績は、これらの見積り及び仮定とは異なる場合があります。

見積り及びその基礎となる仮定は継続して見直されます。会計上の見積りの変更による影響は、その見積りを変更した会計期間及び影響を受ける将来の会計期間において認識されます。

本要約四半期連結財務諸表の金額に重要な影響を与える判断、見積り及び仮定は、前連結会計年度に係る連結財務諸表と同様であります。